

2026年度 秋派遣 APU-立命館大学(RU) 国内交換留学プログラム募集要項

これから申請を行うにあたり、
大切な情報がこの募集要項に記載されています。

申請を希望する学生は、まず募集要項をよく読み、
内容を十分に理解した上で申請してください。
また、ご不明な点がある場合は、募集要項・オンライン申請
フォームに記載されていない内容に限り、
お問い合わせください。

【2025年秋学期に国内交換留学を経験された学生方の声
(一部)】は15ページ参照



1. 国内交換留学プログラムについて

このプログラムは、立命館大学(RU)にて、一定数の学生が、1セメスター期間または1年間、交換留
学生として在籍し、それぞれの大学の授業を履修する制度です。ただし、秋派遣は1セメスターのみ
の募集です。

<国内交換留学 受入れ大学>

立命館大学(RU): 京都府京都市、滋賀県草津市、大阪府茨木市)

2. 派遣先学部

衣笠キャンパス (KIC)	大阪いばらきキャンパス (OIC)	びわこ・くさつキャンパス (BKC)
京都市	大阪府茨木市	滋賀県草津市
法学部 産業社会学部 国際関係学部 文学部	政策科学部 経営学部 総合心理学部	理工学部 スポーツ健康科学部 経済学部

《注意事項》

以下の学部は現在、募集していません。

生命科学部、薬学部、食マネジメント学部、グローバル教養学部、映像学部、情報理工学部、デザイ
ン・アート学部

3. 派遣期間

- 1 セメスター

※立命館大学 秋派遣は 1 セメスターの派遣です。

※派遣決定後の期間変更・延長は認められません。

4. 派遣人数

募集人数は 10 名以内

※よく倍率についての質問がありますが、倍率は募集時期によって異なります。
詳細な人数等はお答えできません。
募集の上限人数に限らず、申請理由・成績・面接などから総合的に判断します。

※両大学合意の上、前述の人数を越えて受け入れる場合があります。

5. 出願資格

対象：3～6 セメスター生 ※派遣時 4～7 セメスター

※最終セメスターでの留学はできません。

※3 回生編転入生は出願できません。

※2 回生編転入生は、第 4 セメスター在籍時より出願できます。

※すでに派遣されたことがある者は出願ができません。

単位数の条件：修得単位数の合計が前セメスターまでの単位×14 単位以上

- 出願時 5 セメスター生の場合：4(前セメスター)×14=56 単位以上修得

成績：通算 GPA=2.50 以上

言語運用能力：立命館大学での学修に必要な十分な日本語能力

※必ずしも日本語上級レベルを必要とするわけではありませんが、

授業を受講するうえで日本語上級レベルであることが望ましい(申請は自己判断・選考面接で審査)

6. 学費・その他諸費用

留学期間中も通常通り APU に学費を納付し、立命館大学(RU)に学費を納付する必要はありません。ただし、宿舍(寮費など)、その他の諸費用(教科書等)は個人負担になります。

7. 住居



大学が運営する寮(衣笠キャンパス・OIC・BKC)

※部屋に空きがある場合のみ。

入居募集は派遣決定後に行います。

※衣笠キャンパスの寮について

複数の寮がありますが、空き状況によって住居が振り分けられます。

また、住居についてはWEB ページに掲載している国内交換留学経験学生からのアドバイスもぜひご参照ください。

(参考)

立命館大学住居 HP:

http://www.ritsumei.ac.jp/international/intl_students/life_info/

8. 奨学金

APU 優秀者育英奨学金もしくは学費減免(国内・国際)の継続受給については、学業成績が2 Semester 連続して継続審査基準を下回ったとき、取消しになります。これは留学期間中も同様です。また、単位数は、留学先で取った単位数そのものではなく、APU で単位認定された後の単位数のみが審査対象となります。

留学終了後は、すぐに単位認定の申請を行ってください。

奨学金に関する詳細は、各自でスチューデント・オフィスに問い合わせてください。

9. 履修可能科目および単位数

- 原則、出願した学部が提供する科目以外の受講は認められません。
- 講義科目、および小集団科目の受講の可否は学部によって定められている受講制限科目があるため詳しくは **14. 履修制限について** を参照ください。
- 英語開講の講義数は学部により大きく異なります。詳しくはシラバスや希望学部の**学修要覧***を確認ください。

***学修要覧とは**……学部毎に開講される授業の概要及び区分(教養・専門等)が掲載されています。



?なぜ APU の学生が立命館大学(RU)の学修要覧を見るべきか?

→立命館大学(RU)の各学部の学修要覧には、その学部で開講される科目一覧が掲載されています。これを見ることで、初めて”どんな科目があるのか” ”その科目は何回生向けか(配当回生)” ”立命館大学(RU)でどの分野に分類されているか”などの情報を把握できます。

これにより、例えば 3 回生の学生が 1 回生向けの授業を選んでいないか?の確認や、また学びたい内容が実は別の学部が提供していることに気づくこともできます。

したがって、立命館大学(RU)での履修計画を立てる上で、学修要覧の確認は非常に重要なのです。

10. 単位認定

● 単位認定の原則

- 派遣先大学の単位は APU の設置科目ではなく原則として分野名として認定されます。
- 以下自身のカリキュラムおよび自学部の単位認定方針を参照ください。

※単位認定の詳細については内定後のガイダンスにて説明します。

単位認定方針
2017 カリキュラム・APM
2017 カリキュラム・APS
2023 カリキュラム・APM
2023 カリキュラム・APS
2023 カリキュラム・ST



自分のカリキュラム・
学部をクリックして
よく読んでください
ね!



● 認定単位数

立命館大学(RU)での履修登録数に上限はありません。

※ただし、APU で認定できる単位数は各セメスターの「APU 履修登録上限単位数」までです。

履修登録数が過多になっていなか等を配慮し、計画的に履修してください。(下記の上限一覧を参照)

※また、在学中に単位認定できる累計上限は 60 単位です。これは 立命館大学(RU)で取得した単位だけでなく、入学前単位認定・海外交換・サマー／ウィンタープログラム等の認定単位をすべて合算します。

※原則として留学先で修得した科目は認定対象ですが、体育や芸術 等の科目は認定不可です。

各セメスター APU での履修登録上限単位数:

1 セメスター	2 セメスター	3 セメスター	4 セメスター	5 セメスター	6 セメスター	7 セメスター	8 セメスター
18 単位	18 単位	20 単位	20 単位	20 単位	20 単位	24 単位	24 単位
		申請可能期間(3-6 セメスターの間)					
		派遣可能時期 (4-7 セメスターの間)					

A さん5セメスター生の質問

Q.ということは、立命館大学で 24 単位分履修登録・単位取得はできるけれど、APU ではそのうち 20 単位しか認定されないということでしょうか？

A.はい、その通りです。ただし、立命館大学の正式な成績証明書には 24 単位すべてが記載されます。
APU で認定される単位数の上限は、ご自身の配当セメスターにおける履修登録上限単位数に準じます。



Q.じゃあ立命館大学に1年間行った場合、最初の Semester で24単位、次の Semester で16単位取得した場合、合計40単位認定されるのではなく、初めの Semester は5 Semester だから20単位のみ、次の Semester は6 Semester だから16単位で、合計36単位しか単位認定してもらえないってことですか？



A.はい、その通りです。
ちなみにですが、もしあなたが6 Semester 生で1年間立命館大学に留学した場合、初めの Semester は6 Semester なので20単位まで、次の Semester は7 Semester なので24単位まで認定可能となります。

Bさん 6 Semester 生の質問



Q.私はすでに他のプログラムで40単位の単位認定を受けています。7 Semester で立命館大学に留学する場合、履修登録上限である24単位はすべて認定されますか？

A.在学中に認定できる単位の上限は60単位です。
7 Semester 生は通常24単位まで認定可能ですが、既に40単位が認定されているため、上限の関係で認定は20単位までとなります。



Q.24単位から20単位にしか
認定されない場合、どの科目
を認定したいか自分で選ば
ますか？



A.はい！もちろん選べます！
単位認定前に担当者が確認
するのでご安心ください。



- 成績評価

単位認定された科目の成績評価は T 評価(=Transfer)となります。これらは GPA に加算されませ
ん。

【卒業までに APU で単位認定できる上限】

T (Transfer) credits:60 単位

(例)海外留学による履修科目の認定、入学前履修科目の認定、サマーウィンタープログラム

- 単位認定の流れ

立命館大学(RU)での履修登録後「単位認定見込み審査」を実施
※学生が申請書およびシラバスを提出し、APU で審査を行う



立命館大学(RU)での履修登録後、履修科目に変更があった場合は、追加・変更分の科目について再度申請 ※追加分についても「単位認定見込み審査」を受ける必要がある



立命館大学(RU)において成績が発表される



成績に基づき、APU にて正式な単位認定を実施



単位の反映時期: APU 復帰後の Semester の、**先着登録 C 前**に反映

11. 演習(ゼミ)について

ゼミの詳細は [APU アカデミックインフォメーションウェブサイト](#)の自身の学部の項目の中にある演習科目(ゼミ)について→2017 カリキュラムまたは 2023 カリキュラム にて各自必要に応じて確認すること。

ご不明点がございましたら、アカデミック・オフィス演習担当(seminar1@apu.ac.jp)までお問い合わせください。

12. 募集スケジュール

行程	日程	通知方法や実施形態
出願期間	2026年4月20日(月)～ 2026年4月29日(水)14:00	Student Portal
書類選考結果発表 及び面接日程通知	2026年5月8日(金)	Student Portal
面接期間	APM:2026年5月12日(火)4.5限 ST :2026年5月13日(水)4.5限 APS:2026年5月15日(金)4.5限	原則対面
学内選考発表	2026年6月10日(水)	Student Portal

*面接教員のスケジュールの関係で日程や実施形態が変更される場合があります。その際は別途書類選考合格者に通知します。

内定者ガイダンスは合格発表時にお知らせします（内定者ガイダンス、派遣前ガイダンス）

※詳細は追って対象者にお知らせします。

13. 出願・選考手続

● 選考(書類審査および面接審査)

言語運用能力、志望理由、成績(GPA)などの提出書類、および面接によって総合的に選考します。

※インターンシップや就職活動を目的とした交換留学は認められません。

● 申請方法

以下の Step を行ってください。全ての Step を完了しない場合は、申請不備となり受付することができません。注意してください。

[APU 国内留学プログラムのウェブサイト](#)から申請してください。

①募集要項を熟読

②[申し込みサーベイ](#)よりオンライン申請(申請期間にオープン)

・[経費支弁書 \(PDF\)](#)

経費支弁者に、上記リンクより経費支弁書をダウンロード・印刷していただき、直筆で署名をもらってください。その後、申請者本人も署名のうえ申し込みサーベイに提出(アップロード)してください。

ファイル名は「経費支弁書_学籍番号_氏名」としてください。

立命館大学科目検索はこちら→



※出願書の中の履修希望科目の検索方法について
各科目のシラバスは、以下のシラバス検索ページより確認してください。

<https://www.ritsumeai.ac.jp/pathways-future/syllabus/>

シラバス検索時の注意点

1. 必ず「2026年秋学期」履修希望科目を入力してください。なお、「2026年秋学期」を選択しても該当科目のシラバスが表示されない場合は、その科目は当該学期には開講されませんのでご注意ください。
2. 履修を希望する科目が募集要項に記載されている履修制限科目に該当しないかについても、必ず自身で確認のうえ記載してください。

=注意=

※記載したものが必ずしも履修できるとは限りません。

14. 履修制限について（立命館大学で履修できない科目一覧）

*立命館大学の各学部が以下記載しています。

¹・通年とは、春セメスターと秋セメスターの1年間を意味します。

全学部共通制限科目 (履修不可科目)	<ul style="list-style-type: none"> ① 全学副専攻外国語コミュニケーションコース…受講不可 ② 教職課程科目 ③ 外国語科目 ④ 留学生対象の日本語科目 ⑤ ¹・通年科目(通年在籍学生は可能)、小集団科目等の演習科目(学部により一部可能)、夏期集中科目(通年在籍学生は可能)、大学コンソーシアム単位互換科目 ⑥ 所属学部で許可されている他学部受講科目以外の他学部科目 ⑦ 留学プログラム(海外スタディ、異文化理解セミナー等) ⑧ インターンシップ(全学インターンシップ等)
全学部共通制限科目 (一部制限のもと履修可能科目)	教養科目:原則として受講可。ただし、受講登録方法が、抽選科目登録もしくは選考科目登録となっている授業は、定員が設定されているため、正規生の受講登録の結果、定員に空きがある場合のみ受講可。
以下 各学部独自制限科目	
法学部 (学修要覧)	・専門科目…原則として各科目の配当回生に従って受講できる。 <u>ただし、下記科目は受講不可。</u> 「社会に生きる法」(1回生配当)演習科目(「特修〇〇法」などを含む)

↑
学修要覧はこちら
をクリック!

	<p>実習関連科目(「公共政策実習」・「法務実習」等)</p> <p>※ 法学を初めて学修する学生は、1・2回生以上配当の基礎的な科目を履修することを推奨。</p> <p>※1年間留学する学生は履修相談を踏まえ、専門演習ⅠⅡ・卒業研究を除く演習科目についても、選考の上、受講を認める場合があります。</p>
<p>経済学部 (学修要覧)</p>	<p>原則として全ての科目の受講を認める。ただし、選考科目および抽選科目は定員に空きがある場合のみ受講可能とする。また、半年間留学する学生は、演習科目の受講は不可とする。(1年間留学する学生は履修相談の中で受講を認める場合もある。)</p> <p>「リクワイヤード経済学Ⅰ」「リクワイヤード経済学Ⅱ」は受講不可とする。</p>
<p>経営学部 (学修要覧)</p>	<p>原則として全ての科目の受講を認める。ただし、選考科目および抽選科目は受講できない場合がある。また、半年間留学する学生は、「専門演習」が受講不可。(1年間留学する学生は、選考の上、受講が可となる場合があります。)</p>
<p>産業社会学部 (学修要覧)</p>	<p>通年開講科目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 基礎演習Ⅰ・Ⅱ:受講不可 ・ プロジェクトスタディⅠA・ⅡA:担当教員が受講を許可した場合に限り受講を認める。 ・ 企画研究:担当教員が受講を許可した場合に限り受講を認める。 ・ ゼミナールⅠ・Ⅱ:担当教員が受講を許可した場合に限り、単位にはならないオブザーバー参加のみ認める。 ・ ゼミナールⅢ・Ⅳ・卒業研究:受講不可 ・ <p>資格取得の目的のために開講されている以下の科目:受講不可</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 子ども社会専攻の「教科教育」の科目と「実習科目」 ・ 社会調査士プログラム履修者のための科目 ・ 「社会調査士Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」、「社会調査情報処理」 ・ 社会福祉士課程のための科目 ・ 3回生以上:「ソーシャルワーク演習(専門)Ⅱ」、「ソーシャルワーク実習指導Ⅱ」、「ソーシャルワーク実習Ⅱ」 ・ 2回生以上:「ソーシャルワーク演習(専門)Ⅰ」、「ソーシャルワーク実習指導Ⅰ」、「ソーシャルワーク実習Ⅰ」「ソーシャルワーク演習」 ・ 外国語科目:受講不可。必修外国語(12単位)は、部分的な科目の履修は認めない。 ・ 産業社会学部英語副専攻:受講不可 ・ グローバルスタディプログラム:「国際社会入門」のみ受講を認める。その他の科目は受講不可 ・ ソーシャルデザインプログラム:「ソーシャルデザイン入門」のみ受講を認める。その他の科目は受講不可 <p>上記の他、一般講義系科目の受講を認める。</p>

<p>国際関係学部 (学修要覧)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 選考科目:受講不可とする。 ・ 専門演習以外の事務室登録科目:受講不可とする。 ・ 専門演習:受講時に3回生(在学第5セメスター目)以上であることを前提とし、定員に空きのあるクラスのみ事前に課題レポートを提出し選考の結果、受講を許可する。半期の交流学生で希望があった場合は、オブザーバーとしての半期の聴講を認める場合がある(単位認定はしない)。この場合、担当教員が所定の志望理由書をもとに選考を行なったうえで、許可を得ることが条件となる。 <p>※選考科目、事務室登録科目等の分類については、時間割の備考欄を確認してください</p>
<p>政策科学部 (学修要覧)</p>	<p>○履修不可科目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報技法科目:政策情報処理 ・グローバル言語科目 ・政策科学科目:政策科学入門、基礎演習、プロジェクト入門、実習科目、演習科目 <p>ただし「研究実践フォーラムⅠ・Ⅱ(2回生)」、「政策構想演習Ⅰ・Ⅱ(3回生)」は、担当教員の許可を得た場合のみ受講可</p> <p>○一部制限のもと履修可能科目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・政策英語科目:正規生の受講登録の結果、定員に空きがある場合にのみ受講可 ・抽選科目:正規生の受講登録の結果、定員に空きがある場合のみ受講可 ・CRPS専攻(英語基準)の科目は、受講申請前に、事務室に相談すること
<p>文学部 (学修要覧)</p>	<p>○受講可とする科目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎科目(一括登録科目のみ受講不可。抽選・選考科目は定員に空きがある場合のみ受講可) ・文学部生全員が受講できる専門科目(抽選・選考科目は定員に空きがある場合のみ受講可) <p>○受講不可とする科目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文学部の各学域・専攻の学生のみ受講できる専門科目 <p>※但し「基礎講読Ⅰ・Ⅱ」と「専門演習Ⅰ～Ⅳ」については、事前申請の上で許可されれば受講可。申請の際は必ず受講を希望するクラスをシラバス等で特定の上で申請すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習科目、人文学特別研修、キャンパスアジア・プログラム科目群、英語アドヴァンスト・コース科目群 ・教職課程科目、学芸員課程科目、図書館司書課程科目、学校図書館司書教諭課程科目

<p>スポーツ健康科学部 (学修要覧)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・全学部共通履修制限科目に加えて、下記科目を受講制限科目とする。 ○プロフェッショナル・キャリア形成科目 (但し、スポーツ健康科学特殊講義Ⅱ「ハイパフォーマンススポーツの科学」は受講可) ○実習科目(コーチング実習科目・身体科学実習科目) ○キャリア形成科目のうち下記の科目 「サービスマネジメント(専門)」「インターンシップ(国内)(海外)」「クリニカルATインターンシップ(国内)(海外)」「インターンシップ(健康運動指導士実習)」 ○特殊講義のうち下記の科目 「スポーツ健康科学特殊講義Ⅱ」 ・定員の定められた科目に関しては、定員に空きのある場合に受講を認める。 ・学部小集団科目である「基礎演習Ⅰ」「基礎演習Ⅱ」「PBLⅠ」「PBLⅡ」に関しては、学部で受講クラスを決定して受講を認める。 同じく学部小集団科目である「専門演習Ⅰ」「専門演習Ⅱ」「専門演習Ⅲ」「専門演習Ⅳ」に関しては、1年間のプログラム学生の場合には、受講可能な基礎知識の有無や定員の空き等を勘案して受講可否を決定する。半期のプログラムの学生の場合には、オブザーバーとして聴講を認める場合がある(単位認定なし)。
<p>理工学部 (学修要覧)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・選考科目および抽選科目は受講できない場合がある。 ・小集団科目、演習、実験、実習等定員の定められている科目は選考の上、受講可否を決定する。
<p>総合心理学部 (学修要覧)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・全学共通履修制限科目に加えて、以下の科目を受講制限科目とする。 「リテラシー入門」 「プログラミング入門」 「心理学概論」 「総合心理学入門」 「心理学研究法」 「心理学統計法Ⅰ・Ⅱ」 「認知心理学概論(知覚・認知心理学)」 「発達心理学概論(発達心理学)」 「社会心理学概論(社会・集団・家族心理学)」 「精神疾患とその治療」 「医学総論(人体の構造と機能及び疾病)」 「臨床心理学概論」 「公認心理師の職責」 「関係行政論」 「行動分析学(学習・言語心理学)」 「学習・記憶心理学」 「神経・生理心理学」 「思考心理学」 「認知行動療法論(心理学的支援法)」 「心理的アセスメント」 「障害者・障害児心理学」

	「色彩論」 「乳幼児心理学」 「青年心理学」 「児童心理学」 「中高年心理学」 「発達臨床心理学」 「キャリア形成論」 「学校カウンセリング論(心理学的支援法)」 「経済と人間」 「福祉心理学」 「行動経済論」 「国内フィールドスタディ」 「教育・学校心理学」 「組織行動論(産業・組織心理学)」 「実験社会心理学」 「コミュニティ心理学」 「司法・犯罪心理学」 「感情・人格心理学」 「文化心理学」 「健康・医療心理学」 「芸術療法論(心理学的支援法)」 「ナラティブ療法論(心理学的支援法)」 「家族療法論(心理学的支援法)」 「現代人間論」 「家族と人間」 「専門英語(心理学)Ⅰ・Ⅱ」 「心理調査法概論」 「プロジェクト研究Ⅰ～Ⅷ」 「総合心理学特殊講義Ⅱ」 「心理学実験Ⅰ・Ⅱ」 「臨床・実践演習(心理演習)」 「臨床・実践フィールドワーク(心理実習)」 「基礎演習Ⅰ～Ⅱ」 「展開演習」 「専門演習Ⅰ～Ⅳ」 「卒業研究」 「コンピュータ・リテラシー」 「国際フィールドスタディ」 「心理学実験演習Ⅰ」 「Global Psychology」 「Global Psychology (Online)」 「Introduction to Psychology」 「Introduction to Psychology (Online)」
--	--

【2025 年秋学期に国内交換留学を経験された学生方の声(一部)】

※その他の経験談については、[こちら](#)からご覧いただけます。ぜひご参考にしてください。

APU 所属学部:APS

派遣先学部:理工学部

留学期間:1 セメスター

- ・半年の留学では基礎の理解にとどまりやすく、可能であれば 1 年間の留学を強くおすすめします。特に理工系の場合、内容の難易度が高く、継続的な学習時間が重要だと感じました。
- ・講義は想像以上に難しく、初見で理解できないことも多いです。そのため、完璧に理解しようとするよりも、手を動かしながら経験を積み、分からない部分は一旦置いて前に進む姿勢が重要だと感じました。
- ・履修計画は非常に重要です。基礎科目と応用科目を同時に取りすぎると理解が追いつかないため、自分のレベルに合ったバランスを意識する必要があります。
- ・また、技術面だけでなく、学生同士の交流も貴重な機会です。私はやや消極的になってしまったため、これから参加する方には積極的にコミュニティに関わることをおすすめしたいです。
- ・最後に、留学は必ずしも直接的に進路に結びつくものではありませんが、自分の適性や興味を深く理解する大きなきっかけになります。この点は非常に価値のある経験でした。

APU 所属学部:APS

派遣先学部:国際関係学部

留学期間:1 セメスター

私は国際関係学部にも所属していましたが、履修した授業はすべて英語で行われました。履修登録については、交換留学の出願時に希望科目を提出する必要がある点が重要です。ただし、その段階で確認する時間割は、APUと同様に学期開始前に変更される可能性があります。そのため、あらかじめ予備の科目を 1~2 つ用意しておくことをおすすめします。また、後に APU の交換プログラムコーディネーターとの会話を通じて、ゼミに正式登録し単位を取得できる可能性があることを知りました。私の場合は事前に確認していなかったため、上級ゼミには聴講生としてのみ参加しました。また、一部の授業では開講前に教室が変更されることがあるため、最新の情報をよく確認することが重要です。

成績評価については、教授から、立命館大学(RU)では A+の取得は非常に難しく、上位 5%の学生に限られると聞きました。ただし、すべての課題をきちんと提出し、真面目に授業へ参加していれば、A の取得は一般的に問題ありません。評価方法は教授ごとに異なりますが、通常はシラバスに明確に記載されているため、事前に確認しておくことで安心です。

多くの授業ではグループディスカッションやプレゼンテーションが含まれており、授業中に教授から質問されることも多いため、事前に準備し、自分の考えを整理しておくことが有効です。私は専攻外である国際関係の授業を履修していたため、難しさを感じることもありました。そのため、授業後に追加で読書を行い、短い要約を書くことで理解を深めるようにしていました。

言語面については、最初は自信がなくても問題ないと思います。授業の雰囲気は全体的にサポートティブで、多くの学生が協力的であるため、徐々に参加しやすくなります。

ゼミについては、聴講生として参加するだけでも非常に価値があります。上級生による卒業研究の発表を聞くことができ、さまざまな研究テーマやアプローチを理解するうえで非常に興味深く、有益でした。

寮についてですが、私は太将軍インターナショナルハウスに滞在していました。建物は比較的新しいですが、バスルームは各フロアで共用です。ただし、スタッフによって清掃されるため、トイレットペーパーなどを準備する必要はありません。APU のシェアハウスにやや似ていますが、各部屋は個室で、ややコンパクトな造りです。

Wi-Fi は、部屋ごとではなく共有で提供されており、時折不安定になることがあります。寝具一式は寮から提供され、月に一度ロビーで交換することができます。

また、洗濯機と乾燥機は 100 円で利用可能です。屋上で洗濯物を干すこともでき、物干し台も用意されていますが、利用できない時間帯があるため注意が必要です。

私は立命館大学(RU)交換留学生向けの公式ガイダンスに参加しなかったため、学期開始前に自分で国際関係学部の事務室へ行き、Rainbow のユーザーID(学生 ID、メールアドレス、パスワード)を受け取りました。その際、スタッフの方も状況にあまり慣れておらず、確認のために電話をしていたため、かなり時間がかかりました。また、他部署からの資料がまだ届いていないとのことで、受け取りまで待つ必要もありました。ガイダンスに参加しなかったことで手続きが分かりにくくなったため、可能であれば参加することをおすすめします。

また、Moodle ログインに使用する認証アプリは削除しないよう注意が必要です。私は一度削除してしまい、再ログインできなくなったため、Rainbow サポートオフィスで再設定してもらう必要がありました。

通学については、寮からキャンパスまでのバスの学生割引を申請しましたが、実際には利用しませんでした。徒歩ではペースにもよりますが 15~20 分ほどです。道の多くは上り坂ですが、運動のために歩くようにしていました。ただし、夜間は街灯が少ないため、安全面には注意が必要です。

日常生活については、京都の生活費は別府よりも全体的に高い傾向があります。しかし、市バスの均一料金制度は便利で、比較的利用しやすいと感じました。私が滞在していた当時は市内一律 230 円でしたが、制度が変更される可能性があるかと聞いています。観光客が多いためか、バスは混雑しやすく、遅延することもあります。

キャンパス環境も非常に便利で、国際関係学部の授業の多くは同じ建物内で行われるため、キャンパス内での移動が少なく済みます。図書館や無料印刷などの施設も大変役立ちました。

京都の冬はかなり寒いですが、APU のキャンパスも冬は寒いため、個人的には似たような印象でした。

友人作りは、意欲があれば十分可能だと思います。特に共同生活の環境では、積極的に行動することで自然と交流の機会が生まれると思います。

APU 所属学部:APS

派遣先学部:文学部

留学期間:1 セメスター

・最初の単位認定見込申請では多くの科目を申請しませんでした。抽選科目もあり、必ずしも履修できるとは限らないので、もしもっと申請しておけば、計画がもっと立てやすかったと思います。

・文学部の授業では必読文献がかなり多いため、授業が始まる前にそれらの本を読んでおけば、もっと自信を持って多くの授業を取れたと思います。

・多くのサークルは年間スケジュールで活動し、新入生募集は通常春学期のみです。さらに、休み期間中やかなり前からプロジェクトやコンテストの準備を始めるサークルもあるため、1 学期の交換留学の学生がこうしたサークルに参加するのは難しいと思います。しかし、趣味系のサークルや一部のスポーツサークルは、いつでも新入生を歓迎してくれます。

・住居について

- APU の学生は通常インターナショナルハウス常盤の部屋を割り当てられると聞いていたのですが、そこは少し古びているように感じ、プライバシーがあまり確保できないと思い、寮には住みませんでした。しかし、大將軍寮を訪れたことがあります。部屋には洗面台と冷蔵庫があり、共用スペースも十分に手入れが行き届いていて、悪くないと思いました。

- シェアハウスに住むことにしたのは大正解でした！歩くのが大好きなので、毎日歩いて通学できるのが気に入りました。また、そこで同じ大学生から親切な大家さんまで、素敵な人々と出会うことができました。

APU 所属学部:APM

派遣先学部:経営学部

留学期間:1 セメスター

【留学中に経験したこと】

学内では様々な小規模イベントが頻繁に開催されているため、学内中央の掲示板をこまめに確認することをおすすめします。新しい友人を作る機会や、多様な経験につながると感じました。

また、可能であれば秋学期に留学し、学園祭を体験されることを強くおすすめいたします。大規模なステージや多くの屋外・屋内ブースがあり、景品イベントなども充実しており、APU の天空祭とはまた違った楽しさを感じることができました。

【派遣前に知っておくと良い情報】

立命館大学には昼休みの時間が設定されているため、昼食時間を確保するために3限を空ける必要がなく、時間割作成において大変役立ちました。

また、印刷用のポイント(学部生の場合、年間1000ポイント、白黒1ページあたり1ポイント)が付与されるため、無料で印刷が可能です。そのため、事前に印刷物を準備する必要がなく、電子機器を常に持ち歩かなくても、その場で資料を印刷して活用できる点が非常に便利でした。

【特にお伝えしたい点】

寮を利用せずシェアハウスを選択した経験についてお伝えしたいと思います。シェアハウスは入退去の契約が比較的柔軟であり、設備が整っている場合には生活に必要なものが一通り揃っています。また、清掃サービスが提供される場合もあり、時間や費用の節約につながり、その分学業により集中することができました。

15. 問い合わせ

アウトリーチ・リサーチ・オフィス A棟2階

担当: 小野(おの)・吉岡(よしおか)

apudsep@apu.ac.jp

【派遣先大学のウェブサイト】

[立命館大学ウェブサイト](#)